

The background features large, overlapping circular shapes in shades of grey, red, and blue, each with a white circular cutout in the center, creating a modern, abstract design.

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022.11.8

ジーエルサイエンス株式会社

東証スタンダード市場：証券コード7705

1. 2023年3月期 第2四半期決算の概要

2023年3月期 第2四半期 決算のサマリー

分析機器事業は安定

分析機器事業の売上高は、各種部材調達に苦心しながらも底堅く推移

半導体事業が好調

半導体製造プロセスにおける消耗品の底堅い需要により大幅に増収・増益

通期見込み

上期の業績を踏まえ通期連結業績予想を上方修正
当初計画比 売上高+9.5% 営業利益+22.7%

連結決算実績（2023年3月期 第2四半期）

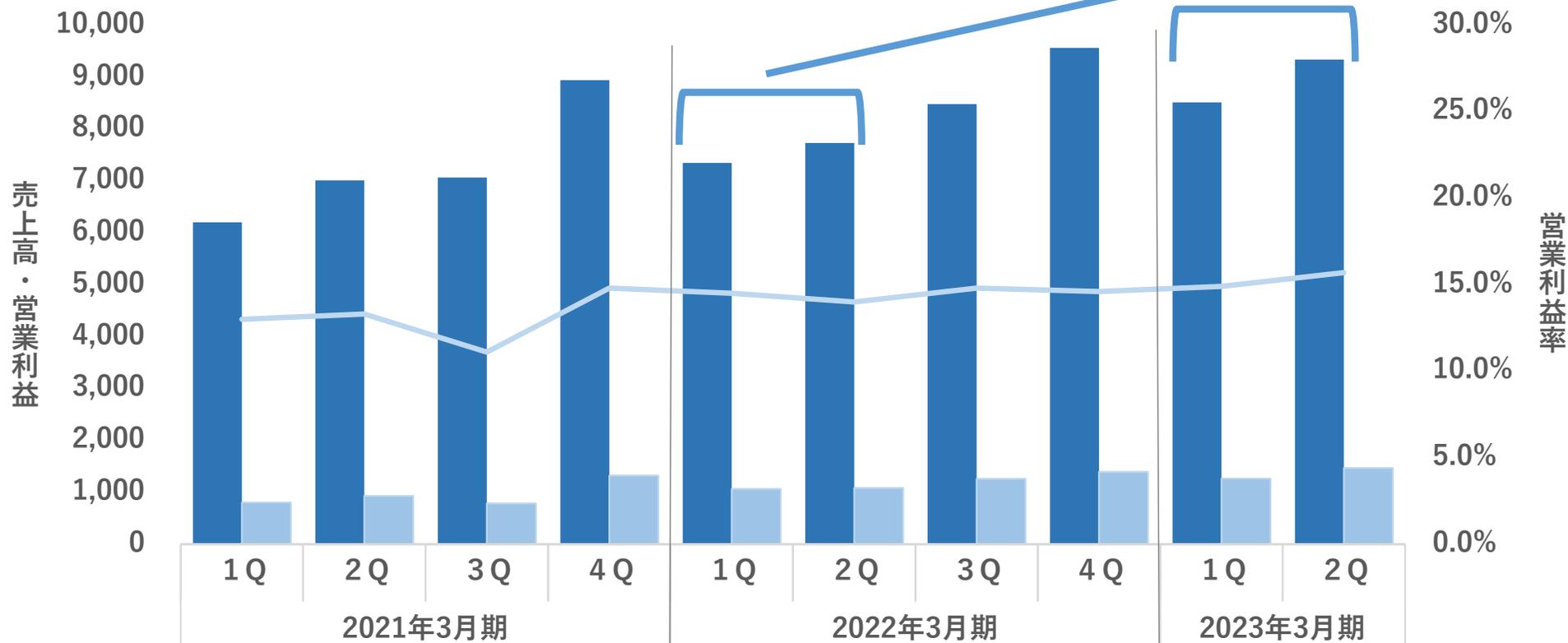
（単位：百万円）

	2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	前年同期比	
			増減比 (%)	増減額
売上高	15,075	17,851	18.4%	2,776
営業利益	2,150	2,734	27.1%	583
営業利益率	14.3%	15.3%	—	1.0pt
経常利益	2,171	3,113	43.4%	942
親会社株主に帰属する当期純利益	1,113	1,526	37.2%	413
1株当たり当期純利益（EPS）	108.50円	148.81円	37.2%	40.31円

連結決算実績（四半期）

(単位：百万円)

前年同期比
+18.4%



	2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
■ 売上高	6,202	7,008	7,064	8,941	7,345	7,730	8,479	9,564	8,514	9,336
■ 営業利益	804	930	786	1,323	1,066	1,084	1,259	1,396	1,264	1,469
— 営業利益率	13.0%	13.3%	11.1%	14.8%	14.5%	14.0%	14.8%	14.6%	14.9%	15.7%

※ 2022年3月期、2023年3月期に係る各数値については、「収益認識に関する会計基準」を適用した後の数値となっております。

連結決算実績 セグメント別

(単位：百万円)

		2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	増減比(%)	増減額
分析機器事業	売上高	6,866	7,339	6.9%	473
	営業利益	572	653	14.2%	81
半導体事業	売上高	7,572	9,827	29.8%	2,255
	営業利益	1,544	2,065	33.7%	520
自動認識事業	売上高	636	684	7.4%	47
	営業利益	29	11	△59.3%	△17
連結	売上高	15,075	17,851	18.4%	2,776
	営業利益	2,150	2,734	27.1%	583

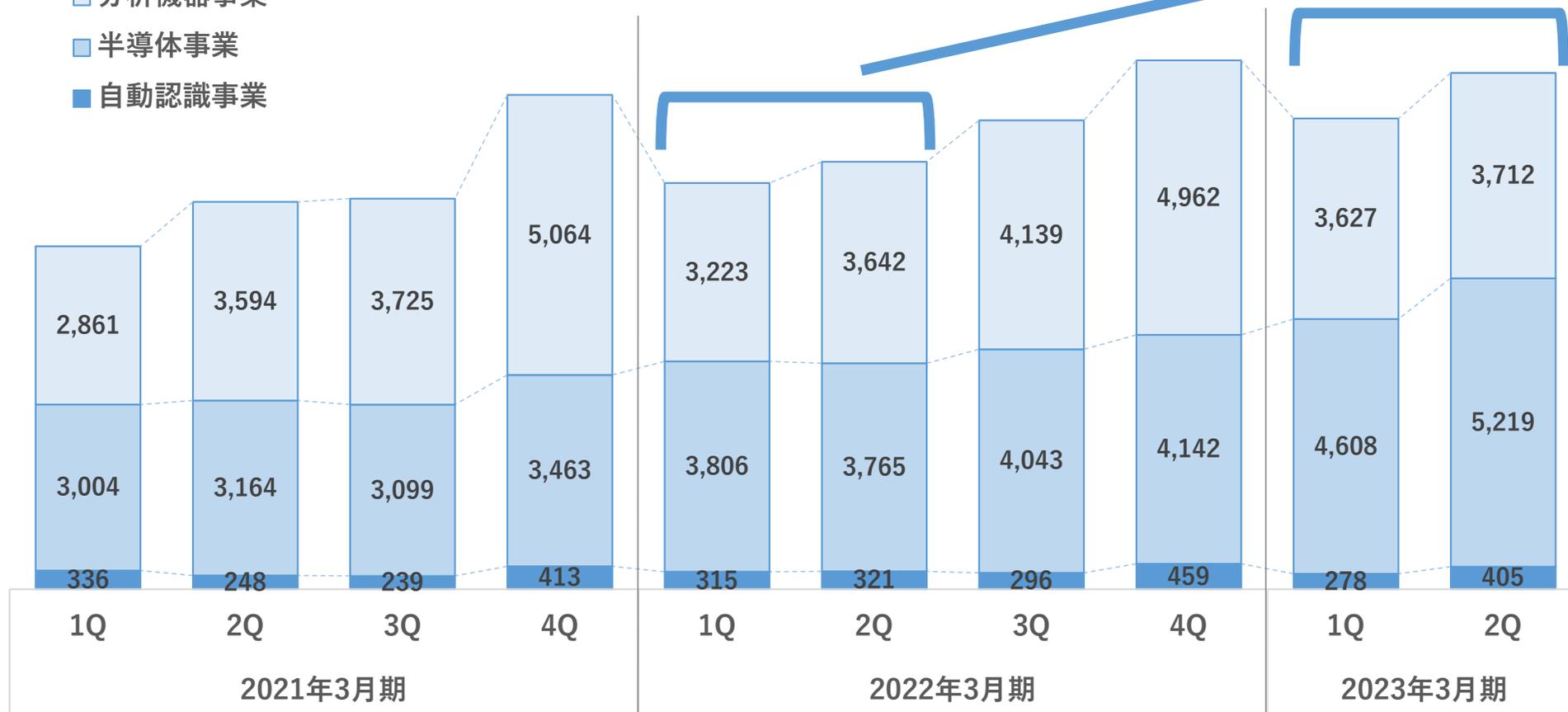
連結決算実績 セグメント別

売上高

(単位：百万円)

- ・分析機器事業 + 6.9%
- ・半導体事業 + 29.8%
- ・自動認識事業 + 7.4%

- 分析機器事業
- 半導体事業
- 自動認識事業



※ 2022年3月期、2023年3月期に係る各数値については、「収益認識に関する会計基準」を適用した後の数値となっております。

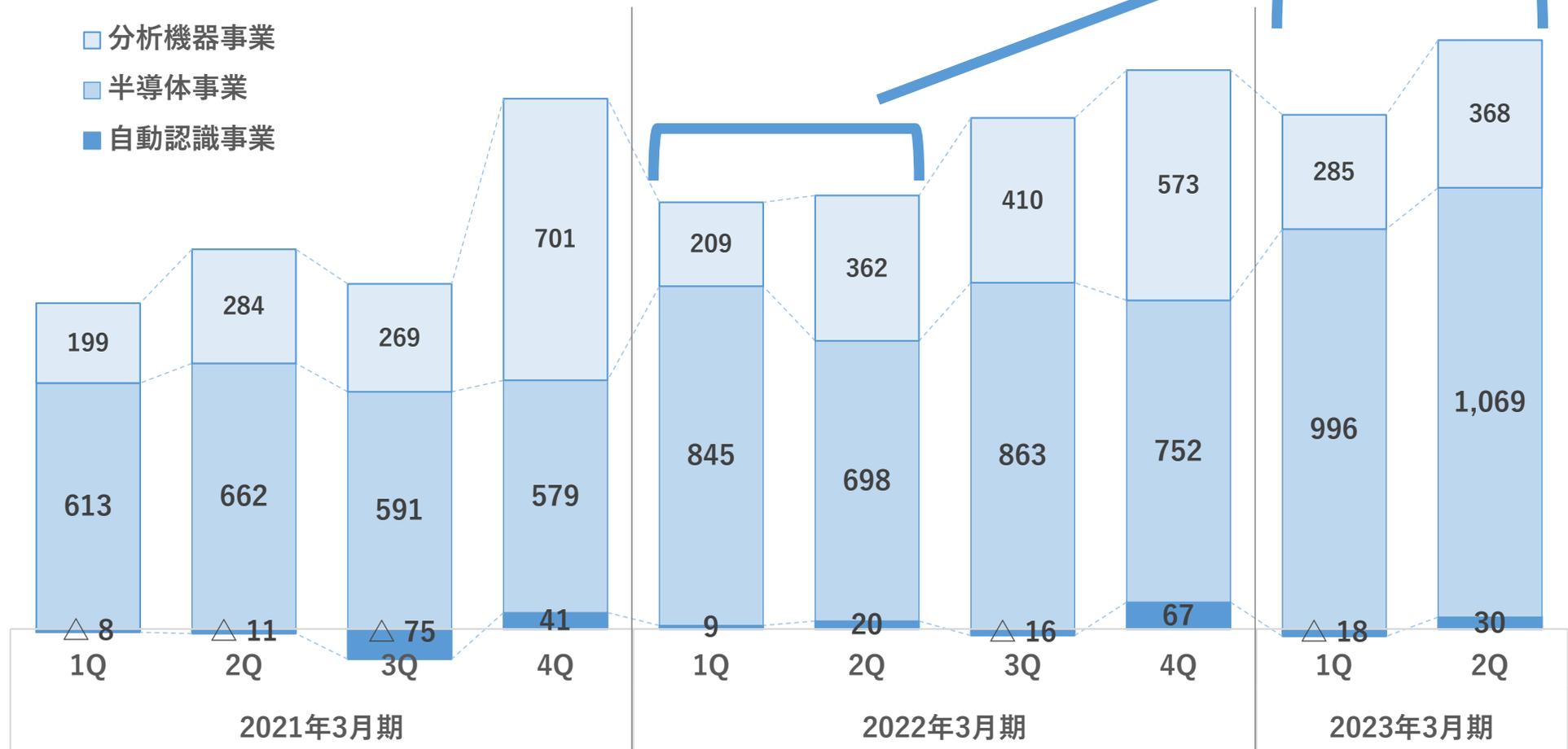
連結決算実績

セグメント別

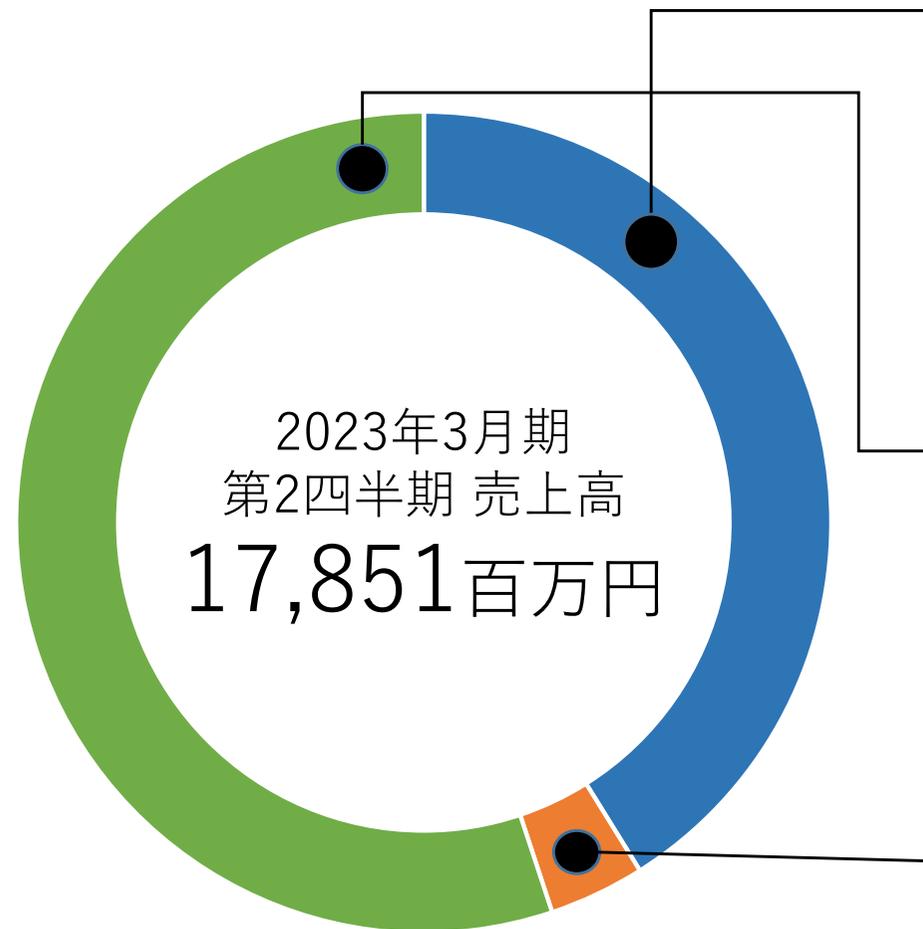
営業利益

- ・分析機器事業 + 14.2%
- ・半導体事業 + 33.7%
- ・自動認識事業 △ 59.3%

(単位：百万円)



セグメント概要



41.1% **分析機器事業**

主に物質を分離して検出する化学分析手法の一つであるクロマトグラフィー関連製品の開発製造販売が主力事業。環境中の化学物質や、食品中の残留農薬などの規制、医薬品開発、製造業における品質管理など、様々な分野で使用されています。



55.1% **半導体事業**

主に半導体・液晶の製造前処理工程の装置で使用される高精度石英ガラス、結晶シリコン材からなる精密加工消耗部品の製造及び販売が主力事業。



3.8% **自動認識事業**

RFID技術を使用した非接触ICカードのリーダー及びライターを中心とした製品開発と販売が主力事業。



分析機器事業 実績

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減比(%)	増減額
売上高	6,866	7,339	6.9%	473
営業利益	572	653	14.2%	81
営業利益率	8.3%	8.9%	—	0.6pt

製品ラインアップ



LC充填カラム



GCキャピラリーカラム



固相抽出カラム



ガスクロマトグラフ



水質測定装置



試料前処理装置

◇2023年3月期 第2四半期 実績に対して

- ・ 装置関連は、他社装置の納期遅延が影響し減収
- ・ 消耗品は、試料調整及びガスクロマトグラフ関連製品、システム関連製品が好調で増収

◇2023年3月期 第2四半期 トピックス

- ・ カーボンニュートラル分野向けのガスクロマトグラフ関連製品が好調
- ・ 円安の加速、原材料価格等の上昇による負担増から自社製品を対象に4月受注分より値上げを実施

分析機器事業 地域別売上高推移

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比		2023年3月期 第2四半期 構成比(%)	コメント
			増減比 (%)	増減額		
国内	5,170	5,422	4.9%	252	73.9%	◆消耗品が環境、食品等の多くの分野で好調
海外	1,695	1,916	13.1%	221	26.1%	◆インド、中近東、アフリカなどの多くの地域で液体クロマトグラフ用カラムが好調 ◆中国はロックダウンや、欧州のウクライナ情勢の影響もありましたが、為替の円安影響等もあり増収
北米	202	220	9.0%	18	3.0%	
アジア	1,134	1,246	9.9%	112	17.0%	
その他	359	450	25.4%	91	6.1%	
分析	6,866	7,339	6.9%	473	100.0%	

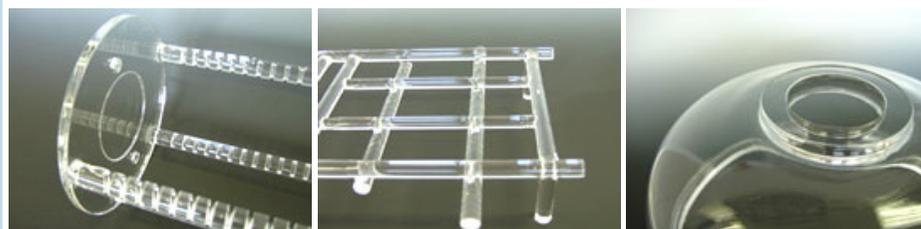


半導体事業 実績

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減比(%)	増減額
売上高	7,572	9,827	29.8%	2,255
営業利益	1,544	2,065	33.7%	520
営業利益率	20.4%	21.0%	—	0.6pt

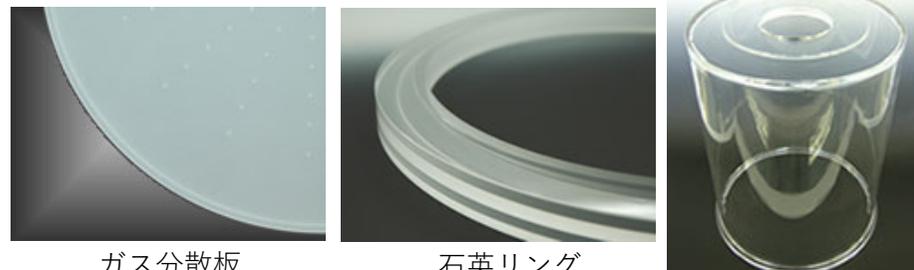
製品ラインアップ



縦型石英ポート

石英台座

ベルジャー



ガス分散板

石英リング

石英反応管

◇ 2023年3月期 第2四半期 計画に対して

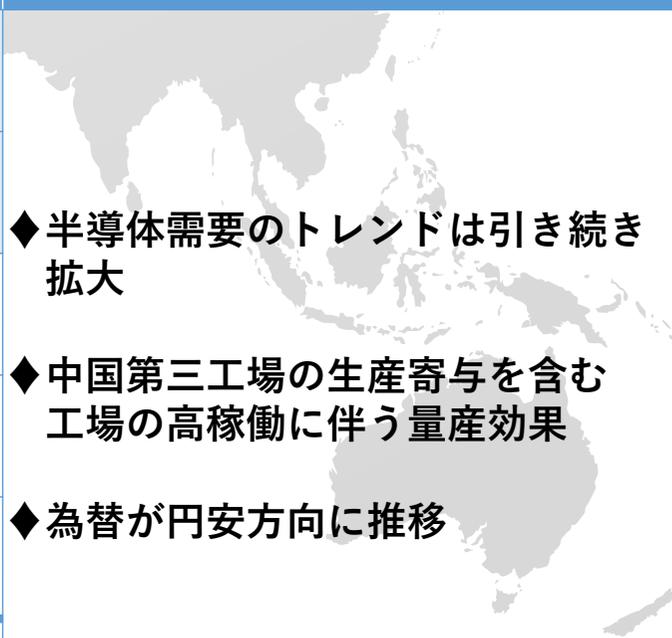
- ・ 売上高、営業利益共に計画を大幅に上回り増収増益、受注残高も過去最高レベルの水準で推移

◇ 2023年3月期 第2四半期 トピックス

- ・ アイシンテック株式会社の子会社化
- ・ 株式分割の実施

半導体事業 地域別売上高推移

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比		2023年3月期 第2四半期 構成比(%)	コメント
			増減比 (%)	増減額		
国内	3,755	4,863	29.5%	1,108	49.5%	 <ul style="list-style-type: none"> ◆半導体需要のトレンドは引き続き拡大 ◆中国第三工場の生産寄与を含む工場の高稼働に伴う量産効果 ◆為替が円安方向に推移
海外	3,817	4,963	30.0%	1,146	50.5%	
北米	392	438	11.6%	45	4.5%	
アジア	3,418	4,522	32.3%	1,104	46.0%	
その他	6	3	△51.7%	△3	0.0%	
半導体	7,572	9,827	29.8%	2,255	100.0%	



自動認識事業 実績

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減比(%)	増減額
売上高	636	684	7.4%	47
営業利益	29	11	△59.3%	△17
営業利益率	4.6%	1.8%	—	△2.8pt

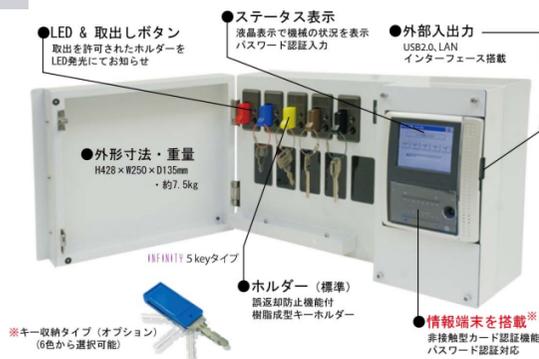
製品ラインアップ



卓上型リーダライタ



電気錠制御付リーダ



鍵管理機

◇ 2023年3月期 第2四半期 計画に対して

- ・ 「モジュール」、「完成系」、「タグカード」は目標を達成
- ・ 「ソリューション」は部材の長納期化等により未達成

◇ 2023年3月期 第2四半期 トピックス

- ・ ハンディ棚卸機能付き薬品管理システム「Reagent Master」の販売
- ・ スマホ対応の南京錠の販売

設備投資額・減価償却費・試験研究費

設備投資額

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減比 (%)	増減額
分析機器事業	233	241	3.5%	8
半導体事業	1,133	708	△37.4%	△424
自動認識事業	6	4	△33.9%	△2
合計	1,373	954	△30.5%	△418

試験研究費

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減比 (%)	増減額
分析機器事業	326	375	15.1%	49
半導体事業	16	19	14.1%	2
自動認識事業	38	38	0.3%	0
合計	381	433	13.6%	51

減価償却費

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減比 (%)	増減額
分析機器事業	259	252	△2.7%	△7
半導体事業	295	417	41.0%	121
自動認識事業	0	2	111.0%	1
合計	556	671	20.6%	114

2. 事業環境及び業績予想

事業環境及び下期政策

	事業環境	下期施策
分析機器	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消耗品は、環境、食品、化学工業、製薬など多くの分野で好調 ◆ 装置は、他社装置の納期遅延などが影響し低調 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カーボンニュートラル分野に注力 ◆ 各種部材の確保を通じた納期管理の徹底
半導体	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 5GやAI、IoT、自動運転等の需要が高まる ◆ 半導体製造装置メーカーの投資意欲は継続 ◆ 半導体市場は着実に拡大していくと見込む 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中国第三工場及び各工場の生産能力の増強 ◆ シリコン製品や火加工製品等の販売拡大 ◆ 業務自動化・効率化などDXの推進
自動認識	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調達部品や電子部品の長納期化影響が続く ◆ 「モジュール」販売が伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 必要とされる企業として高品質な技術とサービスの提供 ◆ セキュアマイコン搭載製品の市場への拡販 ◆ ソリューション分野の更なる拡販

業績予想の修正

- 2022年10月31日付にて連結業績予想の修正を発表
- 半導体事業における当初想定を上回る受注により、売上高は前回予想から9.5%上回る見通し
- 半導体事業において受注に対応した設備投資を実施するが、各利益も前回予想を大きく上回る見通し

(単位：百万円)

		前回発表 (a.修正前)	今回発表 (b.修正後)	増減額 (c=b-a)	増減率 (当初予想比) c÷a
売上高	分析機器事業	16,380	16,700	320	2.0%
	半導体事業	16,940	19,940	3,000	17.7%
	自動認識事業	1,600	1,580	△20	△1.3%
	売上高合計	34,920	38,220	3,300	9.5%
営業利益		4,900	6,010	1,110	22.7%
経常利益		4,960	6,460	1,500	30.2%
親会社株主に帰属する当期純利益		2,720	3,470	750	27.6%
1株あたり純利益		265.51	338.21	72.7	27.4%

※ 売上高は親子間取引消去後の数値となっております。

連結業績見通し

(単位：百万円)

		2022年3月期 実績	2023年3月期 予測(10/31時点)	前年同期比	
				増減比(%)	増減額
分析機器 事業	売上高	15,968	16,700	4.6%	731
	営業利益	1,555	1,650	6.0%	94
半導体 事業	売上高	15,758	19,940	26.5%	4,181
	営業利益	3,161	4,290	35.7%	1,128
自動認識 事業	売上高	1,393	1,580	13.4%	186
	営業利益	80	70	△13.5%	△10
連結	売上高	33,119	38,220	15.4%	5,100
	営業利益	4,806	6,010	25.0%	1,203
	経常利益	4,998	6,460	29.2%	1,461
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,795	3,470	24.1%	674
	1株当たり当期純利益 (EPS)	272.45円	338.21円	24.1%	65.76円

※ 2022年10月31日に業績予想の修正を行っております。
 ※ 売上高は親子間取引消去後の数値となっております。

進捗率（修正後業績予想）

○修正後の業績予想における進捗率は、売上高46.7%、営業利益45.4% 経常利益48.2%で推移

(単位：百万円)

		2022年3月期 第2四半期	2022年3月期 業績	2022年3月期 第2四半期 進捗率	2023年3月期 第2四半期	2023年3月期 修正後 業績予想	2023年3月期 第2四半期 進捗率
売上高	分析機器	6,866	15,968	43.0%	7,339	16,700	44.0%
	半導体	7,572	15,758	48.1%	9,827	19,940	49.3%
	自動認識	636	1,393	45.7%	684	1,580	43.3%
	売上高合計	15,075	33,119	45.5%	17,851	38,220	46.7%
営業利益		2,150	4,806	44.7%	2,734	6,010	45.5%
経常利益		2,171	4,998	43.4%	3,113	6,460	48.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益		1,113	2,795	39.8%	1,526	3,470	44.0%

補足資料

個別 決算実績 (2023年3月期 第2四半期)

- ◆ 売上高・営業利益共に上期過去最高を達成
- ◆ 消耗品売上高：堅調に推移
- ◆ 装置売上高：他社装置の納期遅延が影響し低調

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年同期比 増減比(%)	増減額
売上高	6,149	6,365	3.5%	216
営業利益	445	520	16.8%	74
営業利益率	7.2%	8.2%	—	1.0pt
経常利益	747	929	24.4%	182
当期純利益	575	731	27.0%	155
装置売上高	1,689	1,611	△4.6%	△78
消耗品売上高	4,460	4,754	6.6%	294

個別 業績見通し

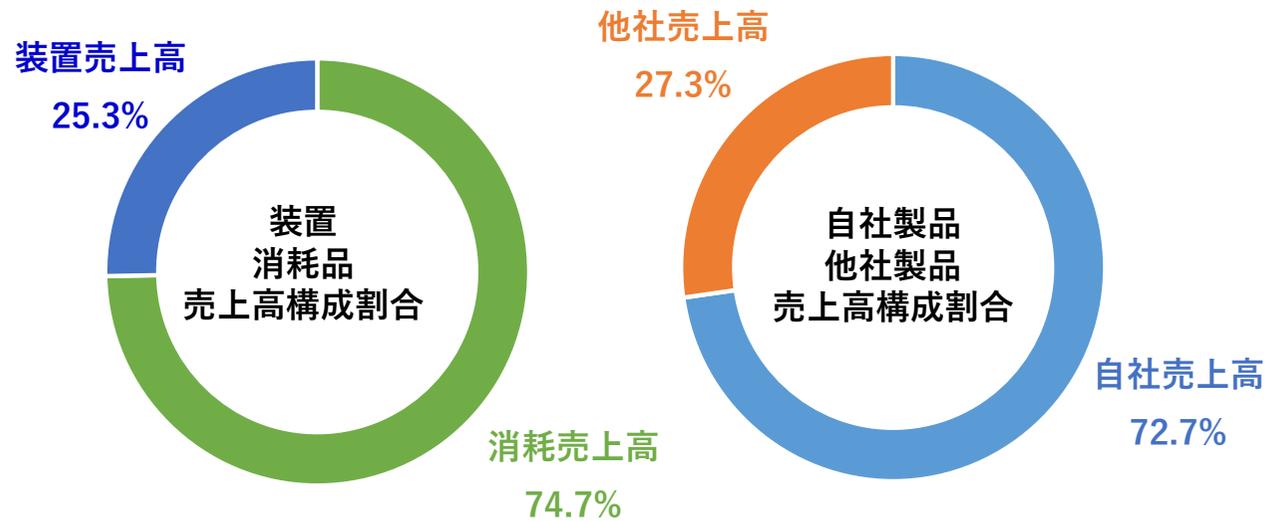
(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 予測(10/31時点)	前年同期比 増減比(%)	増減額
売上高	14,551	14,700	1.0%	148
営業利益	1,337	1,380	3.2%	42
営業利益率	9.2%	9.4%	—	0.2pt
経常利益	1,700	1,810	6.4%	109
当期純利益	1,335	1,420	6.3%	84

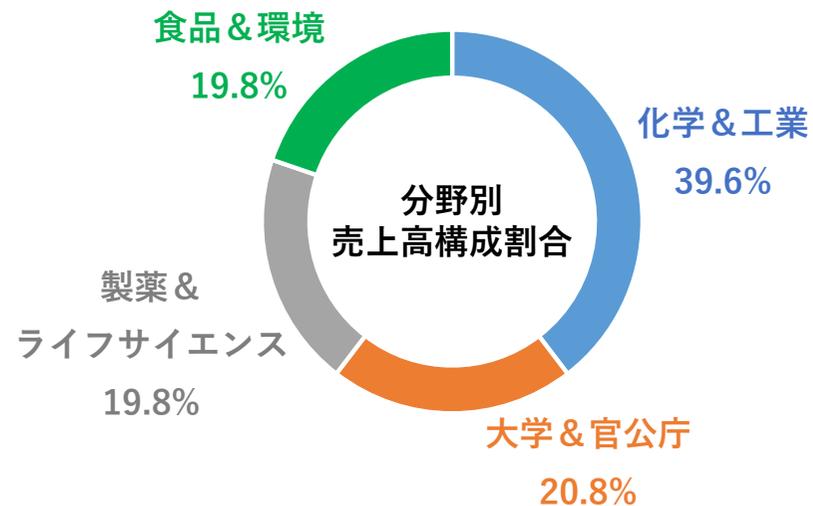
※ 2022年10月31日に業績予想の修正を行っております。

分析機器事業 販売形態別比率

分析機器事業
単体における
売上高構成割合



分析機器事業
単体(国内売上高)における
分野別売上高構成割合



グループ事業概要

分析機器事業

- ・ 当社の主力事業であるクロマトグラフィーは、物質を分離して検出する化学分析手法の一つです。環境中の化学物質や、食品中の農薬などの規制、医薬品開発、製造業における品質管理など、様々な分野で使用されています。当社は、50年以上にわたって、分析機器及び関連する消耗品の提供を通じて社会に貢献しています。

半導体事業

- ・ 主に半導体・液晶製造装置関連及び理化学機器で使用する消耗品となる高精度石英ガラス、結晶シリコン材からなる精密加工部品の製造及び販売が主力事業です。高度な品質要求の分野で培われた技術と経験をもとに、世界中のお客様に石英製、シリコン製の消耗品を提供しています。

自動認識事業

- ・ 非接触 ICカードのリーダー及びライターを中心とした製品開発と販売が主力事業です。非接触 ICカードは国際的に普及しており、高度化する情報化社会の中で磁気カードに代わり普及すると予想され、成長が期待される分野です。



あなたと一緒に地球の未来を考える。

We think about the future of the earth together.

ジーエルサイエンス。



免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルサイエンス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

ジーエルサイエンス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1

TEL : 03-5323-6633

FAX : 03-5323-6636

URL : <https://www.gls.co.jp>